

偉そうに言えない！！ 『こんなこともわからないのか？！』

9月22日(水)授業終了後の放課後15:45～16:15に、中1～中3の各教室を使用し12グループに分けて、2022年3月8日(火)に行われる遺愛女子中学卒業レポート発表会のための中間発表会が行われました。

今年の中学3年生は在籍36名と人数が少なめなので、1人の生徒にマンツーマンで専任教師がつき指導しています。生徒本人の興味関心に従ってレポートテーマが設定されるので、ユニークなテーマや「これは何だろう？」というテーマが少なくありません。例えば『人間の成長過程におけるイマジナリーフレンドの精神への影響』『人間の進化と食料～ズートピアの世界を実現するために』『HSP(繊細さん)と呼ばれる人々についてのみんなの認知、自覚』について、キーワードになる「イマジナリーフレンド」「ズートピア」「HSP」は、本当に申し訳なく、恥ずかしいのですが、今回初めて知った言葉です。生徒の皆さんから「校長先生なのに、そんなことも知らないの？」と言われそうです。

昔なら、小中学生がわからない言葉や用語は、「教科書」、「国語辞典」・「広辞苑」、「百科事典」、「現代用語の基礎知識」「イミダス」等で調べて知ったもので、教師と言われる人達は、それまでの年齢に応じた長い学びの中でほとんどは知っていた事でした。今は様々な分野で、新しい知識が急速に増えていて教師でも追いつけないのですが、最先端の学術用語や以前なら特定の人しか知らなかった趣味用語なども含めて、簡単にスマホで検索して、誰でも知ることができるようになっていきます。もちろんだのくらい深く理解できているかは別です。

最近、生徒さんとの会話の中で新しい言葉や知識を知ることが多々あります。昔のように「おまえ達はこんなことも知らないのか？教えてやろう。」なんてことを「上から目線で」教師が言えなくなってきました。言っても、せいぜい限られた分野だけです。自分の中学・高校生時代とは全く違います。

それだけに、知っているだけでは価値がなくなりつつあります。知った知識をどう活用するか？そこからどのような知を新たに創出できるかが問われてくるのでしょう。そのためにも、卒業レポート(論文)作成の機会はとても重要です。ただ注意したいのは、簡単に検索できると同時に、簡単にコピー&ペーストして論文が出来てしまうことです。超有名大学の教授と言われる人でも誘惑にかられてやってしまうことがあります。それで今まで築き上げたことを全て失うこともあります。自分のオリジナルの部分と他の研究者の論文からの引用部分(出典を明らかにして)を分けて論じることの重要性も同時に学んでいきたいですね。来年3月の発表をとっても楽しみにしています。



2021年9月24日

